

当院にてびまん型腱滑膜巨細胞腫で治療を受けた方へ

当院ではびまん型腱滑膜巨細胞腫の長期成績に関する多施設共同研究を行っております。びまん型腱滑膜巨細胞腫（びまんがたけんかつまくきょさいぼうしゅ）は、膝関節、股・足・肘・肩関節などにも発生し、関節内に腫瘍が増殖します。また骨内にも浸潤するため関節軟骨が変性して、二次変形性関節症を生じることがあります。治療は、手術で腫瘍を切除しますが、全てを切除しきるのが困難で、再発率は40～50%と高いとされています。しかし、本邦では、治療後の再発の頻度やその治療内容、また最終的に手足の機能がどうであったかについてまとまった報告がなされておられません。そこで、日本の骨軟部腫瘍専門病院で治療されたこれらの疾患の患者さんの治療経過を解析し、再発の頻度やそれらに対する治療、そして最終的な疾患の治癒率や手足の機能をまとめることで、今後の治療に役立てることを目的としています。本研究は、骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）に参加する施設で行い、金沢大学を主研究施設とし、東京大学医学部附属病院整形外科は分担研究施設として参加致します。

【研究課題】びまん型腱滑膜巨細胞腫の長期成績に関する多施設共同研究について

【研究期間】

2018年1月5日～2021年3月31日

【対象となる方】

1992年4月1日から2014年12月31日までに当院整形外科で腫瘍切除術を受けられた患者さんを対象とします。

【研究の意義・目的】

びまん型腱滑膜巨細胞腫（びまんがたけんかつまくきょさいぼうしゅ）は、40歳以下の比較的若年成人でやや女性に多く発生し、発生部位としては膝関節が最も多く、股・足・肘・肩関節などにも発生します。関節内に腫瘍の増殖に伴って血が溜まる（関節血症）ことをしばしば認め、また骨内にも浸潤するため関節軟骨が変性して、二次変形性関節症を生じることがあります。変性が強くなると、痛みや関節の変形のために人工関節置換術を要することもあります。治療は、手術で腫瘍を切除しますが、全てを切除しきるのが困難で、再発率は40～50%と高いとされています。

びまん型腱滑膜巨細胞腫に対して日本で治療を受けている患者さんは、年間150～200名程度と予想されます。そのために、治療後の再発の頻度やその治療内容、また最終的に手足の機能がどうであったかについてまとまった報告がなされておられません。そこで、日本の骨軟部腫瘍専門病院で治療されたこれらの疾患の患者さんの治療経過を解析し、再発の頻度やそれらに対する治療、そして最終的な疾患の治癒率や手足の機能をまとめることで、今後の治療に役立てることを目的としています

【研究の方法】

この研究では、1992年4月1日から2014年12月31日までに当院整形外科で悪性骨軟部腫瘍に対して液体窒素処理骨移植術を受けられた患者さんについて、診療のときに検査した各種画像検査、診療記録のデータを使います。そのときに患者さんのお名前などの個人情報を削除します。この後、必要なデータをまとめ、金沢大学に送付し、金沢大学で再発や転移の有無、術後の手足の機能についての研究を行います。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において小林寛が、パスワードロックのかかるスタンドアローンのパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしい場合は主治医にお伝えいただくか、下記の

研究事務局まで平成 30 年 12 月 31 日までに御連絡ください。また、治療を受けたときにあなたが未成年者であった場合、または患者さんがすでに亡くなられている場合には、ご両親や親族など代諾者の方から御連絡頂いても構いません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

本研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 10 年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医へお尋ねください。

この研究に関する費用は、研究代表者と金沢大学の研究分担者が所属する研究分野の基盤研究経費、科学研究費補助金、奨学寄附金などを研究資金から支出されます。研究代表者は、本研究に関して、企業等との間に開示すべき利益相反はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

平成 30 年 月

【研究機関名】

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系

研究責任者：土屋 弘行（金沢大学医薬保健研究域医学系整形外科）

問合せ窓口：武内 章彦（金沢大学医薬保健研究域医学系整形外科）

住所：金沢市宝町13-1

電話：076-265-2374

研究代表者

金沢大学医薬保健研究域医学系整形外科 土屋 弘行

東京大学医学部附属病院は分担研究施設に登録しています。

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学医学部附属病院整形外科 助教 小林寛

住所：東京都文京区本郷 7 - 3 - 1

電話：03-3815-5411（内線 33375） FAX：03-3818-4082

Eメールでのお問い合わせ：hkobayashi-tky@umin.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院

診療科名 整形外科 診療科責任者名 田中栄